

目次	Corporate direction	環境	社会性	ガバナンス	データ集・索引
Nissan Ambition 2030	CEOメッセージ	CSOメッセージ	取締役会議長メッセージ	ルノー・日産自動車・三菱自動車によるアライアンス	日産のサステナビリティ

Nissan Ambition 2030

日産には、「他がやらぬことを、やる」というイノベーションの精神がDNAとして息づいています。この精神に基づき、日産はクルマの電動化や自動運転技術のイノベーションを推進しています。

2021年11月、日産は長期ビジョン「Nissan Ambition 2030」を発表しました。このビジョンにも日産のDNAが貫かれています。クルマの電動化と知能化によりモビリティとその先の未来を切り拓き、真に価値のある技術と商品を通じて、人々の移動の可能性と、社会の可能性を広げていきます。そして、日産のコーポレートパーパス「人々の生活を豊かに。イノベーションをドライブし続ける。」の実現を目指します。

この長期ビジョンは、日産が目指す「よりクリーンで、より安全で、よりインクルーシブな、誰もが共生できる世界の実現」につながります。この実現に向けて、日産は魅力あふれるゼロ・エミッション車を市場に投入し、高度な自動運転技術、コネクテッドカー技術を提供していきます。長期ビジョンを共有した従業員が一丸となり、アライアンスパートナーとも協力して、あらゆるステークホルダーに長期的な価値を提供していきます。

日産のコーポレートパーパスは、気候変動やサステナビリティへの意識の高まりを背景に、これまでにないほど重要になっています。そして、「Nissan Ambition 2030」には、2050年度までにクルマのライフサイクル全体におけるカーボンニュートラルを実現するための革新的な取り組みが数多く含まれています。サステナビリティへの取り組みそのものが、このビジョンの実現なのです。

日産は、電動化を「Nissan Ambition 2030」の中核に据え、電動車ラインナップを拡充し、お客さまへ多様な選択肢と新たなモビリティ体験を提供します。新型電動車を投入し、技術革新を促進し、2030年度までにニッサンとインフィニティの両ブランドでグローバルの電動車のモデルミックスを50%以上に拡大することを目指します。

今、世界では気候変動、社会課題、お客さまの意識に大きな変化が起きています。日産は、これらの変化に対応する長期的な方向性を定め、将来に向けてイノベーションを推進し、ビジネスモデルを構築し、そして優先事項を決定します。

気候危機は、今日の世界において、最も喫緊の課題です。持続可能な未来の存続は、私たち一人ひとりの行動に委ねられています。同時に、社会は高齢化や都市部のモビリティのあり方、交通システムの不足といった大きな課題にも直面しています。これらの社会課題は、世界中で環境や健康、社会的な平等や経済発展に大きな影響を及ぼしています。

一方、デジタル技術と人工知能は、クルマや交通サービスのあり方に変化を与えています。クルマはもはや、個人のための商品という枠を超えて、都市における人々の移動を支える、社会インフラの一部になろうとしています。また、環境や社会の課題へ高い意識を持ったお客さまが増え、同時に、モビリティに対し一層の柔軟性、パーソナライズ、ワクワク感を求めるようになっています。

日産はモビリティ革新を加速するために、従業員のスキルアップを継続しながら、高度な研究開発に取り組む人財をグローバルに採用していきます。従業員は、日産のコーポレートパーパスを実現し、イノベーションをドライブし続けるための重要な役割を果たします。

日産は、よりクリーンで、安全で、インクルーシブな、誰もが共生できる世界の実現に向け、モビリティソリューションを提供し、企業活動のあらゆる側面でサステナビリティを推進します。イノベーションによって人々の生活を向上させ、イノベーションの文化を育むことで技術とサステナビリティを追求する。環境への影響を低減し、組織全体でダイバーシティ&インクルージョンに継続して取り組む。こうしたあらゆる取り組みを通じて、日産はサステナビリティを推進していきます。

日産のコーポレートパーパスと長期ビジョンは、社会へのコミットメントを明確に表現していますが、そのビジョンを通じてお客さまと社会の可能性を広げる価値を提供するために、サステナビリティが重要な土台となっています。今後とも「他がやらぬことを、やる」の精神で、持続可能なより良い社会の実現に向けて挑戦し続け、環境や社会の課題に積極的に取り組んでいきます。日産は、モビリティとその先を見据えた社会にとってかけがえのない一員でありたいと願っています。

